

浅間台自治会だより

発行日 2026（令和8）年 10月号
創刊 1995（平成7）年 通算161号
編集 浅間台自治会だより発行委員会



ホームページ

浅間台の人口動態

下の表は2025年国勢調査の結果の一部です。日本の人口は2020年調査より外国人100万人以上増えているのに、トータルで317万人減少しました。また東京以外は全ての道府県が人口減少となっています。その多くは生まれる人より亡くなる人の方が多い自然減によるものです。

上尾市は数少ない人口が増加している市です。浅間台も新住民が増えており、6,062人も住むとても大きな町です。浅間台の平均年齢は上尾市の平均より3歳ほど若く、特に15歳未満の割合が増えているのは画期的なことです。街に元気があるようで、ともに喜びたいです。



国勢調査	2025年 日本	2020年上尾市	2025年上尾市	2020年浅間台	2025年浅間台
人口（人）	1億2297万	229,265	230,618	5,861	6,062
人口増減	317万 減	・・・	1,353 増	・・・	201 増
15歳未満割合	10.9%	11.9%	11.2%	13.2%	13.4%
65歳以上割合	29.4%	27.4%	27.6%	23.9%	23.8%



9月1日現在75歳以上の後期高齢者は、浅間台で859人います。「敬老の日」の慶事を迎えられた皆様にお祝い申し上げます。お祝いをお配りする中で、施設に入っている方の情報も得ることができました。後期高齢者とは言うものの、浅間台会館を使ってダンス・卓球・体操・楽器演奏・囲碁・麻雀などに取り組み、浅間台の活動を支えてくださっている元気な方がたくさんいます。一方外へ出るのが億劫になっている方もいるでしょうが、自然災害に対応するには、隣近所との共助が特に求められています。一声掛け合う共助を日頃から心がけましょう。

10/17（土） 第1回理事会

第1回理事会は昨年まで12月に行っていましたが、今年から自治会活動を年度の半ばで見直す機会として、第1回理事会を10月17日としました。

理事会は総会に次ぐ重要な会議で、「浅間台自治会のしおり25ページ」でその構成員が決められています。民生委員は6名から8名に変更になっています。理事会出席者は、「浅間台自治会のしおり」の62ページの四役・幹事・会計監査役・顧問と63ページの民生委員と65ページまでの専門部の部長や関連団体の代表ら87名となります。各理事あてに案内状を配布しました。

理事会では今年度の前半の行事を振り返り今後の取り組みに向け生かすと共に、アスベスト問題等について検討することになっています。



11/28・29(土・日) 会館祭り



令和4年コロナで何でも中止の頃文化面を見直したいと、有志の勝手連でスタートし第1回浅間台アートフェスティバルが始まりました。文化祭を長年続けてきている中妻・泉台・小泉などの町会を参考にしながら、浅間台会館の大きさを活かし2階の大和室を絵画・写真・習字等の作品展示コーナーとし、1階大ホールではステージ等を舞台として皆さんの技を披露してもらいました。また特別ゲストとして横田さんの知りあいの『ひばりさん演歌』もスタートしました。

第2回は名称を会館祭りと変更し自治会の行事として計画的に進め、地域住民の交流を目指して中庭も重要な活動の場となりました。3回目以降は、敬老会との交流も重ね、コミュニティーの充実をより大事にしました。4回目は浅間台川柳もスタートしました。現在お囃子と浅間台フォークダンスクラブは皆勤です。なお発起人の横田さんはここで卒業となりました。有難うございました。

来年度は会館改修で会館祭りは中止の予定ですので、今回は浅間台の人たちだけでの会館祭りを目指します。11月29日は学校・お習い事の発表会・試合等で子どもも親も忙しい日とのことで、大ホールではジュニア向けからシニア向けの健康麻雀の日としました。健康麻雀は、いきいき浅間台の活動として火・金曜日に定例活動を行っていますが、今回は誰でも参加できます。ボケ防止・異年齢者との交流を目指します。どうぞご参加ください。



浅間台川柳の今年のお題

・自転車 ・生活道路 ・AI ・フリー（お題にこだわらない）

※小・中学生向けの特別賞2つ ガンプラです。

※募集については、10月下旬に行う予定です。



9/8(火) 薬師(如来)例祭

浅間台会館協の薬王寺で55年続く伝統行事です。時おり雨が降ってくるあいにくの天気でしたが、病気や健康に係わる薬師如来さんにおすがりし、病気を治したり各地の災害被害を癒そうとしたりするものです。御詠歌を唱える梅花講の皆さんは、毎月第3日曜日9時から小和室で練習を行っています。カラオケ気分と一緒に参加する人を募集しています。まずは覗いてみませんか。



9/13（日） 大石地区運動会

雨の日が続く9月でしたが、幸いにも雨にも降られず暑くもない運動会日和でした。必ずしも優勝を目指さず、参加者みんなが楽しんでいました。チームワーク・応援は文句なしの一番でしょう。

浅間台に凄い人がいました。3丁目の落合さん、県のマスターズ陸上競技のやり投げの記録を持つ方で、走るのも半端ではありませんでした。今後を期待しててください。



浅間台会館の歩み（茅葺き→瓦葺き→鉄骨2階建て）



今の浅間台会館は、昭和53年1月に竣工し11月に会館落成式が行われました。会館東側脇の石碑「上尾市長友光恒さんによる浅間台会館建設誌」に次のようなことが記されています。

大石村大字沖ノ上の戸数は僅かに50戸内外の集会所の元は、茅葺の平屋で通称「やこうじ」と言っていたが、昭和22年火災のため焼失した。戦後の大変な時でしたが、各戸から材木財貨の寄進を集め、昭和23年5月に瓦葺木造平屋建て693平方メートルの集会所を再建した。（子どもたちにとっては、学校への集合場所だったそうです。）

その後町村合併、市制施行、区画整理事業等の変遷を経て農業地域から住宅都市化へ発展の歩みを続け、加えて急激な土地利用の高度化、多様化の進む中で人口世帯も著しく増加し、今日の様相を来したことにとともに、この地区住民のコミュニティづくりの一環として会館建設への要望が高まった。地盤が悪かったので地震災害に耐えられるよう杭打ち工事から始め、6か月ほどで立派な浅間台会館が出来上がりました。

なお、「浅間台区30周年記念誌」では、岡野六良夫さんが、次のように記しています。

昭和52年・・・浅間台集会所が狭く増加する住民の集会に対応できないので、同集会所の新築が必要となりました。集会所の中に祭祀されているご本尊の薬師如来を独立安置するために、薬王寺を新築することとなり、薬王寺は53年1月に落成しました。

昭和53年・・・会館の建築面積は103坪で、建築費約5,400万円の調達は苦難の道でした。積立金350万円、共有会特別寄付金2,000万円、市補助金600万円。その時世帯数は700戸でしたが、不足分は地域内外の寄付を集めたようでした。

生活道路の法定速度引下げ

9月1日から日常生活に利用されるような生活道路における自動車の法定速度が、時速60kmから時速30kmに引き下げられました。浅間台は道路標識で40と示されている並木通り（ベルクとヤオヒロの間の道）と浅間通り（神社の前の道）と大公園の脇の線路までの道の3つの道路だけが40kmでそれ以外は、センターラインが引かれている所も全て、30km制限となりました。交通事故を減らすための大きな変更です。60km制限のつもりで罰金刑を受けることないようにご注意ください。

特に、浅間通りは、中妻地区に入る信号の所から全て30km制限となっています。

自治会からのご案内

◆ 会館アスベスト問題とその後

- ・5月 浅間台運動会に市長が来られたので、会長がアスベスト対策の支援を要望した。
市の生活環境課・建築安全課・市民協働推進課と面談しアスベスト対策を教示、指導を頂く。
 - ・6月 建設工事会社3社にアスベスト囲い込み並びに除去工事の見積依頼し見積を取得した。
生活環境課よりアスベストの劣化状況から囲い込み工法は不適合、除去工事にすべきとの指導。
 - ・7月 会館改築工事にアスベスト除去工事を含んだ上尾市集会所整備事業実施要望書（500万円の補助金申請）を提出。12月に議会上程、年度内に確定されることを期待。
 - ・9月 自治会保有資金＋補助金では工事費を賄えないので寄付金を募る計画を立案。30日第3回目のアスベスト調査を大ホール・大和室について実施。10月17日の理事会で結果を報告予定。
- ※ 改修工事は令和9年9月～12月に予定、同期間会館の使用はできなくなります。
詳細は10月17日の理事会で協議されます。内容は自治会HPにアップしていきます。

◇ 熊本地震義援金募金の報告

熊本地震に対して ①8月1日の納涼フェスタ ②8月2日から8月末までの間会館入口に置いておいた募金箱で、義援金 **58,570** 円集まりました。義援金は社会福祉協議会を通じて現地へ届けます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

◇ リサイクル活動

紙類・缶類の家庭内資源を自治会では第3・4日曜日に回収しています。回収された缶類等を分別するリサイクルは、浅間台の貴重な財源となっていて皆さんの協力で行われる活動です。

ただほんの一部の人ですが、灰皿代わりに使われた缶があったり刃物の刃が混ざっていたりしたこともありました。スプレー缶は自治会では回収していません。市の回収日にお出してください。刃物類は刃を防護して安全に配慮して市の回収日にお出してください。

◇ 折畳みかご型ゴミ集積所

集積所の折畳み型カゴが広がることで、カラス被害も減ってきています。美化の面でも衛生の面でも好ましいことです。路上ネットは残り10か所位となりました。残りの場所も早めに対応をお願いします。

<今後の予定>

- 10月17日（土）第1回理事会
- 10月18日（日）大石ふれあい健康ウォーキング2026
- 11月22日（日）上尾シティーハーフマラソン2026
- 11月28・29（土・日）会館祭り 28日は敬老者の昼食会
- 12月6日（日）側溝および町内清掃



カワセミが戻ってきました

<編集後記>8月22日テレビの緊急速報のテロップで、上尾市での**大雨危険警報レベル4**が繰り返し伝えられた。室内にいてはそんなに大雨が気になっていなかったのも外に出てみる。人の動きはほとんど見られない。神社前の歩道では、くるぶしの上まで水につかり川を歩くようだった。落葉が排水溝の蓋付近にいっぱい集まっていた。幸いにも線状降水帯とはならなかった。雨が止んでから蓋付近1か所でバケツ半分以上の落葉が集まった。柱や土砂では対応できない。落ち葉だけで済んだのは幸運だった。（正）